



モスクワ日本人学校

*Japanese School in Moscow*

しらかば

学校だより No18

1月14日

モスクワ日本人学校

校長 岡本 高一

## オンライン授業参観について

校長 岡本 高一

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。

コロナ禍での教育活動が続いております。外で行う教育活動、工夫して密を避けられると判断した教育活動、見学、修学旅行など児童生徒にとっても貴重な教育活動と考え、できる限りの実施をして参りました。しかし、今年度、実施を見合わせている、対面での授業参観については学校評価でもご意見を頂いております。学校の状況、考えを説明させていただきます。

校舎内に入校頂き、対面での授業の参観実施は、学校としても早く実現したい活動と考えています。一方で感染力の強い変異株の校内での集団感染は、児童生徒に重大な健康被害を及ぼすことや、学校運営が継続できなくなる事態を招くことが考えられ、保護者の皆様の入校を制限させて頂いて、授業参観をオンラインの参観として実施しています。

デルタ株の感染が収まり、3学期の参観からは限定的に、学年単位で保護者の皆様に授業を参観して頂けることを学校としても期待していました。しかし、オミクロン株の感染拡大により対応を継続して行かなければならなくなりました。下にあげる数値は、その根拠とさせて頂いている数値です。( )内が各教室、又はホールで学習するときの本校児童生徒の専有面積です。日本の基準である前後左右1mのソーシャルディスタンスを保つためには、4㎡の専有面積が必要になります。しかし現状では4㎡に満たない学級も出ています。これに大人が入るのは難しい現状です。これは、本校だけでなく児童生徒数の多い、日本国内の学校も4㎡はとれていない状況です。本校ホールでも十分ではありません。更にモスクワの気候上、寒さのために窓を開けて換気を十分にすることができません。

現在、やむを得ない入学卒業関係行事は、体育館やホールを使い行うこととしていますが、対面での授業参観は今しばらく、オンラインで行うこととさせて頂きました。オンラインでの映像や音声の問題もあり、十分にお子様の様子を見て頂けないことは、学校としても承知しております。せめて音だけでも聞こえやすくできないかと新しい集音マイクを設置致しました。また、来年度に向けても状況を踏まえ、対応を検討して参ります。

以上の状況から、1月17日(月)小1, 2, 3年、19日(水)中1, 2年、21日(金)小4, 5, 6年はオンラインでの授業参観になりますが、状況をご理解頂き、ご参観頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

### 【参考】

(本校児童の教室等での専有面積)

小1:51,4 ㎡(18名 2.86 ㎡) 小2:49,7 ㎡(19名 2.62 ㎡) 小3:51,3 ㎡(11名 4.67 ㎡)

小4:49,5 ㎡(22名 2.25 ㎡) 小5:50,0 ㎡(12名 4.17 ㎡) 小6:50,9 ㎡(13名 3.92 ㎡)

中1:49,2 ㎡(5名 9.84 ㎡) 中2:30,6 ㎡(7名 4.37 ㎡) 中3:30,0 ㎡(6名 6 ㎡)

4階ホール:ホール使用 220,8 ㎡の75%165.6 ㎡(小4児童・保護者計44名が入った場合 3.76 ㎡)